

こやまだより

野火止

のびどめ

2023

No.79

編集 発行

(福)東京都社会福祉事業団

東京都小山児童学園

〒203-0041 東久留米市野火止 2-22-26

電話 042 (471) 0041

FAX 042 (475) 9046

<https://koyama-gakuen.jp/>

令和 5 年 5 月 31 日発行

令和 5 年度 / 登録第 1 号



すがすがしい若葉の季節となりました。皆さまお障りなくお過ごしのことと存じます。

新型コロナウイルスによる行動制限も緩和され、学校や地域に子どもたちの明るい声が戻ってきた感じがしています。学園の子どもたちにとっても、これまで感染症対策で控えてきた寮外出、行事などもできるようになり、ショッピング、映画、スポーツ観戦、クルージング体験など、仲間と一緒に過ごす様々な機会をとおして、楽しさや嬉しさといった前向きな気持ちが湧いてきていると思います。

学園では、今春より新たな生活をスタートさせる5名の子どもたちが無事に卒園しました。それぞれが新しいフィールドで活躍をされることを心より応援し続けたいと思います。そして、グループホームも含めた在園生それぞれが、幼稚園、小学校、中学校、高校、そして大学と、しっかりと入園、入学・進学、進級をされたことをお祝いします。おめでとうございます。

さて、今年度も小山児童学園は、子どもたちが安全で安心した生活ができる快適な環境を整え、心身ともに健全な成長を支援することにより、自立と自律を目指した施設運営を行っていきます。そのためには、子どもたちが何事にもチャレンジしたいと思える、そして本当にチャレンジ（実践）することを応援する、後押しする風土を育てていきたいと思っています。合言葉は、『Just give it a go!（先ずやってみよう!）』です。

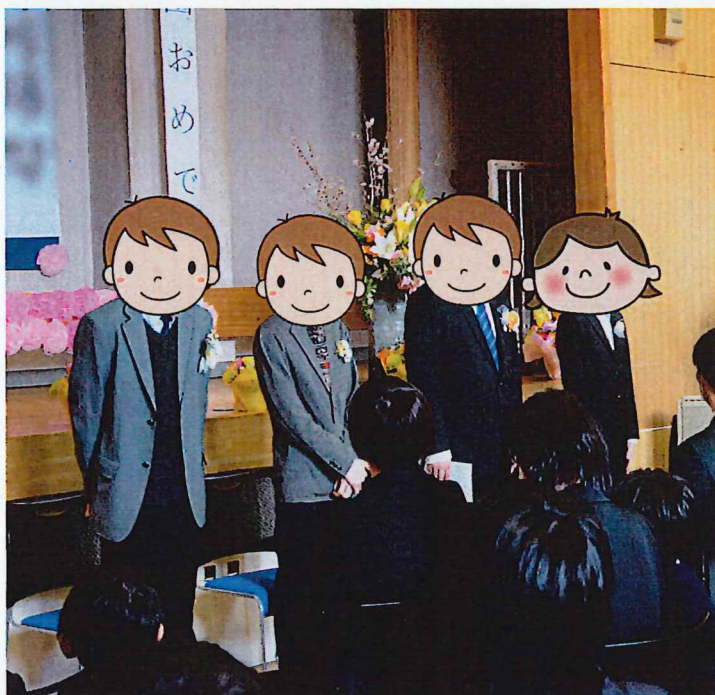
学園の寮舎、園庭、そしてグループホームなどたくさんの場所で、子どもたちの元気で明るい声が響き、笑顔溢れる瞬間がたくさん見られることを願いながら、職員一同尽力していきたいと思っています。

皆さま方のご支援・ご協力のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。

園長 山中 茂幸

門出を祝う会

おめでとう
ございます



令和5年3月12日の日曜日、令和4年度『門出を祝う会』を行い、在園児童、学園職員で卒園児童5名の新たな門出をお祝いました。

学園職員からの涙あり、笑いあいの心温まる祝辞、卒園児童からの心に響く感動的な挨拶、卒園児童、在園児童、学園職員、皆で歌った送る歌など、とても温かく思い出に残る会になったと思います。

5名の卒園児童の皆さんにはこの

『門出を祝う会』を糧として、これからの人生に大きな希望を持ち、輝かしい未来に向かって一歩一歩進んで行ってもらいたいと思います。

新任・転入 転出・退職 園長・職員挨拶

山川前園長

小山での2年間、本当にいろいろなことがありましたが、今、思い出されるのは、子供たちはもとより職員の皆さん一人ひとりの顔と楽しい記憶ばかりです。

30年近く、様々な仕事をしてきた私にとっても、小山での経験は、皆さんとともに自分自身が成長できた、大変貴重な機会でした。ありがとうございました。

在職中にお世話になった皆様方、この場をお借りして、お礼申し上げます。引き続き小山児童学園を、よろしくお願いいたします。

山中園長 ※P5 写真左端

本年4月より園長に着任いたしました「山中茂幸」と申します。

『自分の仕事に、そして福祉の現場で働いていることに自信と誇りを持てる』ことをモットーに仕事を続けてきました。とは言え、今はまだ分からないことばかりで、不安や心配が尽きません。少しずつにはなりますが、子どもたちと職員と共に、楽しい、嬉しい、幸せなひと時（瞬間）をたくさん作っていくことで、不安や心配を自信と誇りにしていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

新規・転入職員の方々

宇佐美寛（松寮）・佐藤琴美（竹寮）

大沼真歩（GH みずき）

退職職員の方々

楠山有希（心理）

和田富子（松寮）



楠山さん

小山児童学園は3回目の勤務でした。変わらない心理室はとても懐かしく、これからどんな子たちと出会えるんだろうと、ワクワクドキドキしたのを今でも覚えています。週に1回、2年間というとても短い期間でしたが、子どもたちと過ごした時間は、私にとって忘れられない大切な時間です。自分に足りない事、新しい気づき等、子どもたちからはたくさん事を学ばせていただきました。今は、東京と埼玉でスクールカウンセラーとして働いています。学園で学んだ事をしっかりと活かして頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

和田さん

小山での生活28年が終わり、今ほっとしているような何か忘れて来たような気持ちです。大きな病気にもならず何とかチームの一員として歯車をまわしてこれたことに一安心しています。

子ども達の生活も28年もたつうちに色々様変わりしその都度追いついていくのは大変だったけれど新しい流行や皆の話が楽しくていつも子ども達のそばで笑っていられたような気がします。

もう明日は行くのは嫌だと思っても寮に来ると何とか笑えてた…

若い後輩に支えられ好きなように怒ったり笑ったりできたのもチームで仕事をして来た醍醐味でした。

たくさんの人に出会い、たくさんの人に支えられ、いつも早く帰ることはばかり考えているのに帰れなくなってくたくたで眠る日々から今やっと解放されたけれど、あの忙しさが皆と過ごした幸せな大事な時間だったと心からそう思い、本当に感謝しています。

宇佐美さん（松寮）※写真右から2番目

この4月から小山児童学園で勤務することになりました。養護から2年離れて戻ってきました。初日から夜食を作ったり、子どもたちと冗談を言い合ったり、時には真剣に話をしたり、正に子どもたちと「生活」を伴にする事が出来て日々充実しております。児童養護において、子どもたちの「生活」の中で、「科学的で専門的な支援をする」を合言葉に、失敗を重ねながら皆様のお力を借りて、精進していく所存ですのでよろしくお願い致します。

佐藤さん（竹寮）※写真中央

今年度、新規採用職員として小山児童学園に配属されました。1年目で不安も多くあり至らない点多々あるかと思いますが、先輩職員にご指導頂きながら良い支援を積極的に取り入れ全力で頑張り、行事ごとにも精一杯取り組んでいきたいと思っています。児童との関わりを最も大切にし、信頼関係を築いていけるよう日々頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

大沼さん（GH みずき）※写真左から2番目

八王子福祉園より小山児童学園へ転任しました。分からないことや不安なことが絶えずありますが、先輩職員にアドバイスをもらいながら自分の仕事に責任を持って頑張っていきたいと思っています。児童との関わりでは、信頼関係を築いていけるように1日1日の支援を大切に行っていきたいと思っています。また、素敵だと感じた支援を積極的に真似して自分に取り入れていけるように頑張ります。1日1日を大切に頑張りますのでよろしくお願い致します。

招待行事 クルーズ船



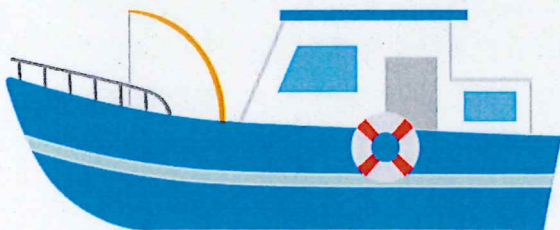
4月下旬に招待行事で子どもたち
10名を連れて、夢の島マリーナのクルー
ージングに参加しました。

小型船に乗船し、甲板の先の方まで行
かせてもらったり、スタッフの付き添い
のもと運転ハンドルを握らせてもらっ
たりと沢山楽しみ、子どもたちからは素
敵な笑顔が見られました。

天候にも恵まれ、波を見て喜び、風に
吹かれて気持ち良さそうにしていまし
た。

クルージング後は、カレーライスとお
餅、お菓子の詰め合わせを頂きました。

のんびり近くの公園を散歩しながら
帰りました。



いちご狩り



果物狩りって楽しいですね♪

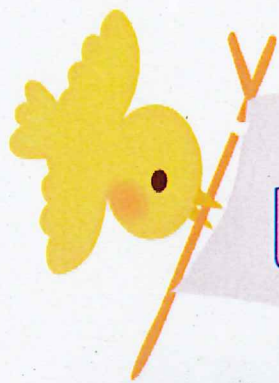
本園の近くにいちご狩りができるところや、梨狩りができるところがあるなんて知らなかったんです。

NPO 法人はぐくみさんのおかげで、地域の皆様と関わる機会が増えました！

子どもたちの嬉しそうな笑顔を見て、子どもたちのためにいろいろなイベントや遊びを考えてくださる、はぐくみさん。

他にも NICE さん・青い鳥さん・SWITCH さん・みらいこども財団の遊びボラの皆様に感謝してもしきれません。





ピアノ発表会



3月5日にピアノ発表会を行いました。子ども達は1年間一生懸命練習した自分で選んだ曲を演奏しました。

自信に溢れ堂々と演奏する姿に感動を覚えました。今年度も感染症対策を取りながら、学園内で観客を招待し沢山の方々に披露することとなりました。

演奏者全員が満足のできる発表会だったと思います。

最後には先生の素敵な演奏を拝聴でき、音楽の奥深さを感じました。約1年間、ご指導いただいた鈴木先生、大変お世話になりました。ありがとうございました。



編集後記

今年度最初の『野火止』は如何だったでしょうか。

小山児童学園の情報を発信できるよう、お伝えしていきたいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

広報誌『野火止』担当 菊地（菊寮所属）